

2018 (H30) シカ年度 エゾシカ航空カウント調査計画

1. 目的

知床国立公園内において越冬するエゾシカ個体数の航空カウント調査を実施し、知床におけるエゾシカの生息状況を把握する。

2. 調査実施場所

調査対象位置図（裏面）のとおり

3. 調査方法

①航空カウント調査

2019年2-3月に知床国立公園において、ヘリコプターからの低空旋回での観察と写真撮影等によりエゾシカの越冬個体数を調査する。調査範囲は裏面のとおりとし、GISを用いて地図上にエゾシカの確認地点と個体数を記録する。また、各確認地点の緯度経度、個体数を表形式に整理する。なお知床岬先端部（モニタリングユニット M00）においては旋回撮影により可能な限り雌雄、成獣・亜成獣の別を記録する。

※知床岬先端部における調査日は、例年どおりエゾシカ捕獲の実施前とする（捕獲の攪乱による調査への顕著な悪影響を回避するため）。

②過去の航空カウント調査結果との比較

知床岬地区においては、M00の一部において、平成9（1997）年以降継続的に航空カウント調査が行われている。このことを踏まえ、①の結果を整理し、過去に行われた航空カウント調査結果との比較を行う。

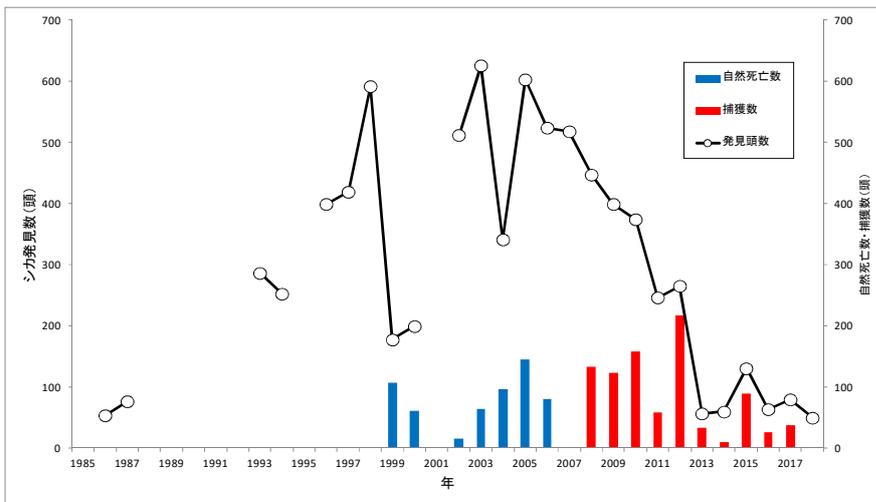
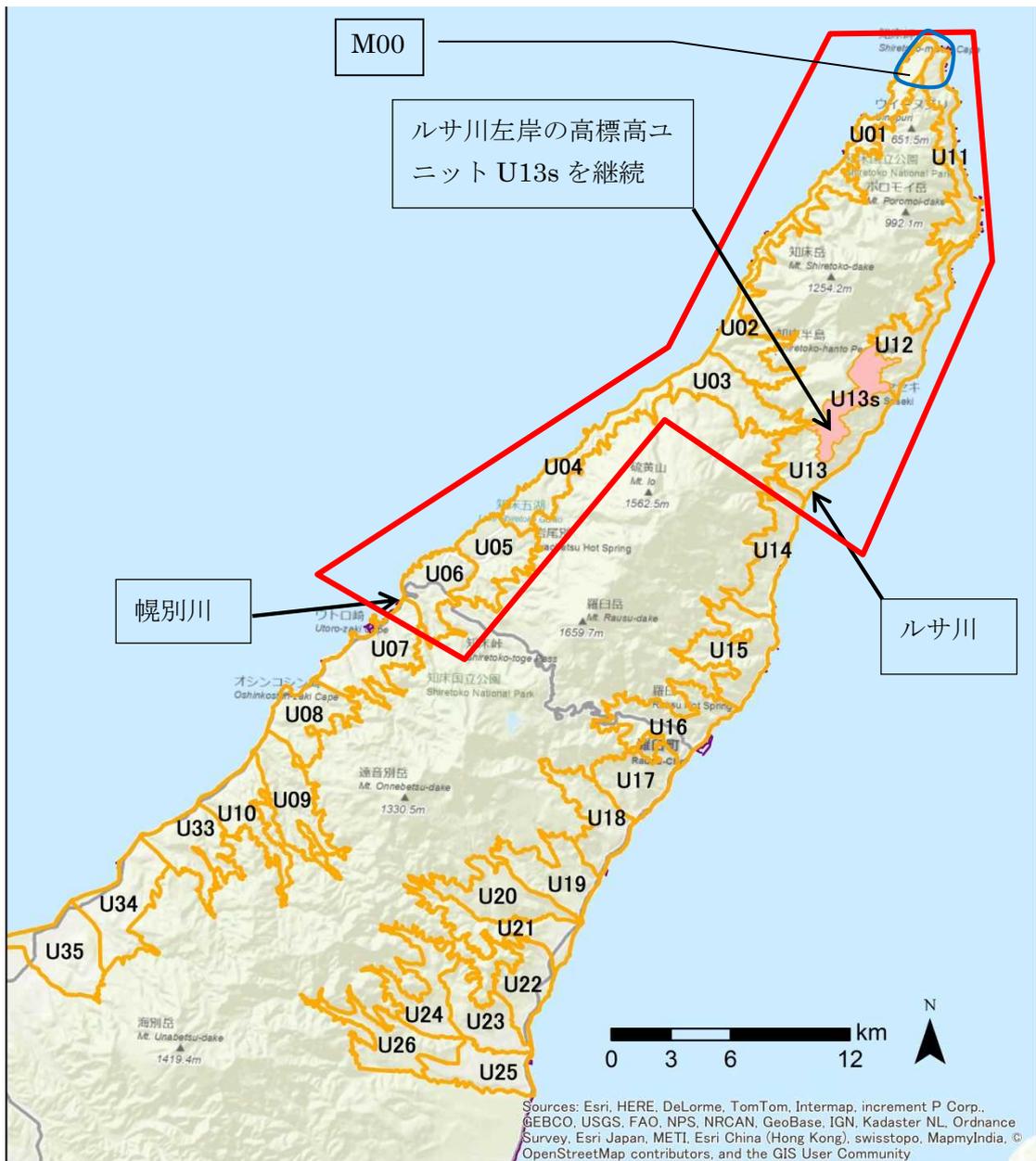


図1. 航空カウント調査による知床岬先端部におけるエゾシカ発見数、自然死亡数および捕獲数の経年変化。（環境省 平成29年度知床生態系維持回復事業エゾシカ航空カウント調査業務報告書より）

調査対象位置図



斜里町幌別川流域以北、羅臼町ルサ川流域以北の原則として標高 300m以下の地区（航空カウント調査区として 10 ユニット）を対象とする。